

観光客誘致・受入対策特別委員会 総括質疑順序(案)

順序	質疑項目・要旨	委員名
分類1 夜景観光の推進		
1	(1) 夜景観光の推進について 世界新三大夜景、日本新三大夜景は、夜景観光の推進に大きく貢献している。それぞれ令和3年度に再認定されたが、引き続き世界新三大夜景、日本新三大夜景に認定されるために、主な観光施設を活用したライトアップやイルミネーションなど、将来を見据えた取組の検討・充実に向けてどのように考えているのか伺いたい。	井上 重久
	(2) 今後の長崎夜景の魅力向上策について これまで様々な夜景磨きに努めてきたが、ポストコロナを見据えてさらに進化を続けていくために、どのような対策を考えているのか伺いたい。	向山 宗子
2	(1) 夜景観光の推進について 夜景観光において新市庁舎は、市内の視点場（稲佐山、鍋冠山、風頭公園等）から中心に位置し、新たな夜景の素材として重要な位置に存在すると思う。また、新市庁舎の19階展望フロアはまちなかを一望でき、新たな夜景の視点場にもなると思う。今後、新市庁舎開庁後には夜景の素材、視点場として、どのように活用していこうと考えているのか伺いたい。	木森 俊也
分類2 西九州新幹線の開業に伴う取組		
3	(1) 西九州新幹線開業に伴う観光客の動向及び開業効果を持続させるための対応策について 長崎駅周辺の再整備が進む中、新駅舎・出島メッセ長崎・西九州新幹線の開業などにより、コロナ禍にあっても交流人口は増えている。その経済効果をいかに持続させるかが重要であるが、民間プロジェクトである新長崎駅ビル（長崎マリオットホテル）、長崎スタジアムシティ完成までの間の関係機関（行政、DMO、観光業界等）の取組や支援、課題への対応策の考え方について伺いたい。	井上 重久
	(2) 西九州新幹線の開業効果について 西九州新幹線の開業から2か月が経過したが、利用者数の推移について伺いたい。	相川 和彦
4	(1) 西九州新幹線の開業効果について 西九州新幹線の開業効果を大きくするため長崎駅周辺まちづくり推進協議会が設立され活動されていると思うが、その状況について伺いたい。	相川 和彦
5	(1) JRや他都市との連携について 令和4年10月から12月が佐賀県・長崎県がデスティネーションキャンペーンの対象となっているが、どのようなキャンペーンを行い、効果は見えてきているのか。また、九州一体となったキャンペーンの実施状況を伺いたい。	野口 達也
分類3 観光関連産業を成長させるための取組		
6	(1) ポストコロナを見据えた今後の取組について 観光が真に本市の主要産業となるためには、従事者の平均給与アップ、ブランド力の向上、来訪者に域内のものを消費してもらうなど、全体を底上げする取組が欠かせない。今後の方針について伺いたい。	林 広文
7	(1) マスターブランド「暮らしのそばに、ほら世界。」「長崎で、会いましょう。」の認知度について 令和4年4月25日のブランド発表から半年。まだまだ浸透が薄いと感じるが、これまでの対応と成果について伺いたい。	野口 達也

観光客誘致・受入対策特別委員会 総括質疑順序(案)

順序	質疑項目・要旨	委員名
分類4 観光客誘致の取組		
8	(1) ポストコロナを見据えた観光客誘致の具体策について 今後、観光客誘致は都市間競争が激化し、従来どおりの縦割りの手法では競争を勝ち抜けないと考えるが、DMOや関連部局とどのように連携して観光客誘致に取り組むのか具体的な考えを伺いたい。	毎熊 政直
9	(1) 団体旅行型から個人旅行型への対応について 旅行の団体型から個人型への移行に、長崎の観光政策は遅れていると言われている。DMOは、これまでのマーケティング力を振興策へ生かし、長崎市公式観光サイト「travelnagasaki」を開設するなど個人へ発信する基盤はできている。今後はどのように展開していくのか伺いたい。	野口 達也
10	(1) 観光資源の磨き上げ、魅力づくりなど具体的対応について 長崎市第五次総合計画、長崎市観光・MICE戦略、長崎市DMO事業計画等があるが、資源の磨き上げ、魅力づくりにどのように生かしていくのか。また、今後、域外からの外貨獲得、消費拡大、インバウンドプロモーション・誘致の連携強化についてなど、具体的対応策について伺いたい。	井上 重久
	(2) ポストコロナを見据えた今後の取組について 先日、国土交通省から訪日クルーズ船受入れを、来年3月に再開することが発表された。コロナ禍で約3年間受入れが停止されており、これからの期待したいと思うが、来年3月以降、国内に寄港するクルーズ船は予定がないとの報道もなされている。今後、クルーズ船受入れに向け、県との連携も必要と思うが、本市としてどのような対策を取っていくのか。また、これまでどのような取組を行ってきたのか。あわせて、インバウンド再開に向けて国の制限緩和がなされているが、どのような取組を行っていくのか伺いたい。	木森 俊也
	(3) ポストコロナを見据えた今後の取組について インバウンド観光の推進について、国際クルーズ船の受入再開が発表された。本市観光の産業化を進めるためには、インバウンド需要の取り込みが重要となるが、今後の取組について伺いたい。	林 広文
11	(1) 今後のインバウンド誘致の取組について ポストコロナを見据えたとき、インバウンドの観光客にいかに多く来ていただくかが重要と考えるが、特に欧米豪への取組が弱いのではないかと思う。担当部門などをつくってエージェント対策などを取る予定はないのか伺いたい。	向山 宗子
分類5 観光関連施設等の充実		
12	(1) ながさき大くんち展の今後について 市民、市外の方へ大好評だったが、今後の開催の考えを伺いたい。また、他都市の催しの開催地（唐津くんち、青森ねぶたなど）では展示施設が充実しているが、長崎伝統芸能館をもっと分かりやすい場所である、まちなかに移転する考えはないのか。移転しない場合でも、長崎伝統芸能館単体で見学や体験ができるようにする考えはないのか伺いたい。	野口 達也
13	(1) 主要観光施設等の状況について 長崎市内の主要観光施設には公衆無線LANが設置されていると思うが、施設によっては電波が弱く利便性に欠けるところがあり、利用を諦めてしまう観光客の姿も見受けられる。今後、機器の取り替えや、アクセスポイントを増やし、通信環境を充実させる考えはないか伺いたい。	東 竜也
14	(1) 渋滞、駐車場等の交通対策について 大きなイベント等が開催されると大半は渋滞になり、駐車場が全く足りていないが、どのように対策を考えているのか伺いたい。	相川 和彦